

## 成果の説明書

(氏名)福間 聡	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>A. 研究</p> <p>(国内研究発表)</p> <p>「ロールズはアリストテレスをどう批判しているか？」(ワークショップ、政治的な事柄を〈いま〉哲学するということ:アリストテレス『政治学』を再読する意義の検討を手がかりとして) 日本哲学会、2019年5月19日、首都大学東京(南大沢キャンパス)</p> <p>(論文)</p> <p>「ロールズによるアリストテレス批判の変遷について ——差異と共通性についての探求」、『地域政策研究』22(2), pp.15-30, 2019年12月</p>	
2 その他の事項	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>「倫理学における非理想理論の構築—メタ・規範・応用倫理学の統一理論を目指して—」という課題が科学研究費(基盤研究(C))に採択されたので、来年度も引き続き「非理想的な倫理理論とは何か」というテーマを軸に、研究・教育活動に邁進したい。</p>	